

パブリックコメント（意見募集）一覧と市の考え方

- (1) 提出状況 6名（37件）
 (2) ご意見等の内容及びご意見に対する市の考え方・対応

No	項目	意見の概要	修正
1	マスタープラン全体について	総花的で計画にメリハリがないと感じます。今美濃市がどうしても取り組まなければならないことは何かという視点が欠けてしまっているのではないのでしょうか。市民アンケートを実施しているのであれば、その実態をどのように計画に反映させるかという考えを前面に出していくべきだと感じます。あれもこれもと欲張っては上手くいかないと思いますので、メリハリの効いた施策が求められるのではないのでしょうか。	この計画は、まちづくりの総合的な方針を定めるものであります。具体的な計画、施策は、この計画を基に、担当部署で定めていくことになります。
2	バイパス建設について	北部地域の衰退が課題であり、人口減と高齢化に対応する事が求められると感じます。その改善方法として、交通利便性の向上が挙げられます。大矢田・藍見地区から関市へのアクセスが十分ではなく、計画にある工業地化をしても効果が薄いと感じます。上野関線のバイパスとして、旧池尻笠神工業団地計画の中で浮上していたかと思いますが、工業団地化計画が無くなったのであれば、バイパス建設だけは重要事項として位置付けるべきであると思います。佐藤岐阜県議員も選挙公約で打ち出している為、具体的な事業化を図るべきだと思います。これにより、北部のアクセスが向上し活性化につながっていくのではないのでしょうか。	この計画で示す都市計画道路は美濃市全体の交通ネットワークとして整備すべき路線を示しておりますが、現時点で未整備区域が多く残っています。これらを整備することで関市へのアクセス向上にも繋がると考えています。
3	マスタープラン全体について	森林あつての水、空気、人、生物の地球であるため、森林や自然を愛し、増やしていかなければいけないと感じます。	P46、P53、P62及びP69にて、森林の適正な管理、保全に努めることとしております。
4	美濃インター商業化について	美濃インターの商業化に反対です。 パートナーシップ企業が非営利組織へ浸透し、非営利私企業化するという、乗っ取られる危険性の高い商業化には反対です。 商業化は地域の人や市民と話し合っ、色々なアイデアやエネルギーを取り込んでこそ地域の発展を図ることができるものです。 今、市だけが市民の意見を全く聞かず無視して自分勝手に何もかも進めているのではないのでしょうか。 それでは上手くいくはずはありませんし、失敗します。 もっと多くの市民の声に耳を傾けてほしいと思います。反対している市民はたくさんいたのではないのでしょうか。	この計画は、商業を中心とした土地利用を推進することを目的としておりますが、商業のみを中心とした土地利用を決定するものではございません。商業を中心としつつも、多様な土地利用を目指し、受け入れが可能な計画となっております。地域全体の魅力向上等を図るため、引き続き努力してまいります。
5	うだつの上がる町並みについて	うだつの上がる町並みについては、修繕ではなく、PRを行ってほしいです。 ・重要なのは重伝建地区に選定されることではなく、それ活かしたPR。 ・修繕に関しては、行政の補助金に頼るのではなく、自分たちでやれば良い。 ・その代わりにたくさんの人を呼ぶためのPRについては、しっかりとお金をかけてやらなければいけない。 こういった意見をしっかりと聞いていますでしょうか。私は全然PRができていないと思います。美濃市のお金は一部の人の為だけに使うのではなく、市民全体に行き渡る使い方をするのが良いと思います。 美濃和紙も地元の情熱がないと発展しないと思います。無形文化財に指定する事より、地元の人はどう盛り上げていくかよく話し合うことと、PRが重要だと思います。	うだつの上がる町並みは、全国的にも重要な文化的価値を備えています。この計画では、引続き、重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景を進め、歴史的環境の整備に努めるとともに、美濃市を代表する観光地及び市民の身近な商業地として、賑わいの創出に努めることとしております。
6	自然について	自然を壊すことに反対です。 これ以上、森林伐採等自然を壊す行為は地球にも天候にも生き物にも悪影響しかないと考えています。 そういったことから、「美濃市都市計画マスタープラン」の全ての森林伐採、農地潰しの工業化」及び「美濃テクノパーク南側一帯の工業化」に反対します。 今現在でも猪や猿に畑を荒らされて困っています。山が無くなったら、どんどん里に下りてくるのが想像できます。畑だけではなく人に危害が及ぶことも想像できます。自然を壊して動物の住み家を壊すことに大反対です。 例え今、水田を畑にしたとしてもまた水田に戻せるようにしていただきたいと思います。	森林については、P46、P53、P62及びP69にて、森林の適正な管理、保全に努めることとしております。 農地については、P39にて「市内全域に広がる農地や農業集落地は、営農環境と農地がもつ自然環境の保全機能、そこに住む人の居住環境が調和した良好な農業集落地として、担い手農家への利用集積による農地の減少防止や、環境保全に配慮した土地利用を図ります。」としております。

7	公共事業について	<p>市民の応援、町づくりとして、商業、道路、工事、悪徳医療従事者などの公共事業より、市民の生活を最優先してほしいと思います。そして遊び場、楽しむ場を作ってほしいと思います。</p> <p>公共事業と社会保障の比較をしてみたところ、日本の公共事業(6.0%)は米、仏、独、英4ヶ国平均(2.0%)の約3倍、社会保障は約半分(日本3.4%、平均7.7%)となっており、他国と比べると異常な数値になっています。</p> <p>市民の生活を優先することに転換し、公共事業を見直していただきたいと思います。</p> <p>美濃市には何もないので関市に行くと思います。「美濃市に住んでいれば必要なものが何でも揃う」ぐらいの町にした方が良いと思います。それが各地区にあれば尚安心です。</p> <p>市民が美濃市にお金を落とす→市が潤う→市が市民を応援→市民が潤う これを「経済が回る」というのではないのでしょうか。</p> <p>美濃市で自給自足。個人で自給自足。本当は税金も少なく、個人が好きなように生きるのが自然の姿だと思っています。</p>	<p>この計画は、まちづくりの総合的な方針を定めるものであります。具体的な事業等は、この計画を基に、担当部署で決めていくこととなります。</p>
8	子育てについて	<p>全世代の応援は必要ですが、少子高齢化を考えると、一番お金が必要な子育て世代の応援は必須です。そして貯蓄せず(できず)一番お金を使うのも子育て世代です。</p> <p>明石市の良いところをどんどん取り入れてください。Uターン、Iターン引越者を招いてください。農業に興味ある方大歓迎ですよ？</p> <p>美濃市は田舎なので中核市の明石市の真似はなかなかできませんが、子育て支援の5つの無料は出来ると思いますので、実施してってください。</p> <p>都会の若者が田舎へ引っ越し農業を始める話はよく聞きます。</p>	<p>この計画は、長期的な視点に立った都市の将来像や実現に向けた方針であり、都市作りを進める指針となるものと位置付けております。</p> <p>ご提言いただいたような施策にかかる部分につきましては、関係部局が所管する計画等の中で方針を検討していくものとしております。</p> <p>いただきましたご意見は関係部署へ共有させていただきます。</p>
9	美濃市の遊び場について	<p>市内の中心部に色々なお店が集中していると思います。各地区にも遊び場があるとちょっと楽しく生きられると思います。</p> <p>どの世代もいつも笑顔になることが沢山あればいつまでも元気で病気にならず医者いらずで福が来ると思います。</p> <p>皆が気軽にくつろげる居酒屋やカフェ、ボケ防止になる麻雀等、各地区に楽しい交流の場は必要です。工場の近くなら仕事帰りに立ち寄ってくれるのではないのでしょうか。アパートのある所に飲食店は喜ばれると思います。個人のお店を増やして交流の場を増やし笑顔を増やしましょう。</p> <p>美濃市は私利私欲だらけの政治家や宗教団体、業界団体がつくるものではなく、個人の集まりなので一番大切なのは個人ではないのでしょうか。</p> <p>不自然は失敗しかしないのではないのでしょうか。自然に集まるから上手くいくのではないのでしょうか。</p>	<p>この計画は、まちづくりの総合的な方針を定めるものでありますが、地域内のさまざまな地区に遊び場や交流の場を設けることで、市民の皆さんが日常生活で楽しむ機会を増やし、コミュニティの活性化につながることは非常に重要と考えます。具体的な計画、施策は担当部署と情報共有し、今後の事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
10	DXについて	<p>DX推進計画及びGIGAスクールに構想に反対します。</p> <p>文部科学省が全国の学校に対し提示したGIGAスクール構想ですが、あくまで「主体的に進めていくのは各自治体」と言っています。「誰ひとり取り残すことのない…」と言っています。</p> <p>ひとり残らずマイナンバー(デジタルID)を使って人自体をデジタル空間に送り込みロボット化し人の「命」を単なる「物」にしようとしているのではないのでしょうか。便乗するのはやめていただきたいです。</p> <p>GIGAスクール構想はマイナンバーカードやワクチンと同様に任意ということは何かあっても責任を取らないということではないのでしょうか。</p> <p>ワクチンやICT、GIGAスクールなど国会議員が率先して使用してから国民に進めていただきたいと思えます。</p> <p>マイナンバーカード(デジタルID)医者、薬、ワクチン、GIGAスクール等色々なことから子どもを守ってください。</p> <p>子どもは親の持ち物でもましてや政府の持ち物ではありません。フリースクールを作った方が良いと思います。</p>	<p>この計画は、長期的な視点に立った都市の将来像や実現に向けた方針であり、都市作りを進める指針となるものと位置付けております。</p> <p>いただいた御意見のGIGAスクール構想やデジタル化推進に対する懸念、それに対する責任や影響を考えることは、自治体として非常に重要と考えます。市民の懸念や不安を真摯に受け止め、それに基づく適切な対応を検討する必要があると考えます。具体的な計画、施策は、担当部署と情報共有し、今後の事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>

11	マイナンバー等について	<p>ソフトバンク＝ヤフー＝LINE＝マイナンバーであると考えています。 「ソフトバンクは何兆円という巨額利益でも法人税ゼロ。問われる社会通念。孫正義の報酬年102億円の配当金(税20%)であるが、102億が所得だとすると税45%」 こんな汚い会社信用できますでしょうか。 「マイナンバーに紐付けされたLINEは今も情報漏洩している」 こんな会社信用できますでしょうか。 「欧米は日本人より人権意識が高く、そんな金の投資は受けたくないという」 日本人は人権を大切にしようとする意識が低すぎるため、世界各国に下に見られているのではないのでしょうか。 歯：フッ素は毒ではないでしょうか。虫歯になるのは免疫力が落ちている場合も多々あります。 目：デジタルで(ブルーライト・近距離等)目が疲れ視力が落ちたり色々な症状が出てきます。 血流を良くすることは大事です。子どもの(大人も)健康の為にスポーツ施設が欲しいという声もあります。子どもを守っていただきたいです。 高齢者にスマホを勧めるのをやめていただきたいです。機器代と通信料泥棒に見えてしまいます。またデジタル犯罪の罠に引っかかるのが目に見えます。白内障も進んでしまいます。金儲けの為に悪循環をやめていただきたいです。</p>	<p>ソフトバンクやLINEなどの大企業に関連する税務問題や情報セキュリティ、さらにマイナンバーとの連携に関する不安は、多くの市民にとって重要な問題です。また、市民のプライバシーと人権への配慮は、どの国においても極めて重要な問題と考えます。 いただきましたご意見は関係部署へ共有させていただきます。</p>
12	美濃市の人口について	<p>(美濃市の人口及び世帯は、平成26年から減少し続けている) RNAワクチンで人口が減るのは想像できますが、世帯が減るのはなぜでしょうか。美濃市が嫌で出ていくのではないのでしょうか。 他国の人も言いますが、「国(市)が栄えるには国民(市民)を増やすしかない。移民を増やしても栄えない」と。今小学生のお子さんのいる人が「引っ越しを何十回してきたけど、個人のお店がたくさんあって賑わっている町が一番住みやすいと思った」と。これは重要なことだと思います。 子どもを産んでくれる可能性が高い子育て世帯、一番お金を使う必要のある子育て世帯を応援することは、人口を増やすことと未来の若者を応援することになるのではないのでしょうか。介護でお世話になってしまうのも若い人です。 生きる上で住みやすい環境は大事です。生きるとは悪事や金信者に捉われず、自然の流れで楽しく元気に健康に生きることではないのでしょうか。</p>	<p>美濃市の人口および世帯数の減少については、さまざまな要因が考えられますが、市民が市を去るという問題は深刻です。地域の魅力を高め、市民が住み続けたいと思える環境を整備することが急務と考えられます。いただきましたご意見は関係部署へ共有させていただきます。</p>
13	日本全体人口について	<p>日本全体で人口が減っている今。 観光事業や商業や道路を広げても誰が美濃市へ来るのでしょうか。人の取り合いになるだけで一時的に人が来てもまた来なくなるだけで、赤字が延々と続くことにならないのでしょうか。今厳しいなら伝統も一時的に縮小するなど工夫したりすることも考えられます。寂しい各地区に個人店を増やして交流の場を増やす方が経済が回るのではないのでしょうか。 公民館を開放して不登校の子どもや大人やお年寄り等誰でも招き入れ、会話したり本を読んだり自由に過ごせる空間を作ってみてはいかがでしょう。ノート1冊置いて自由に書き込みできるようにし、不登校の子が悩みごとを書いたり、跡継ぎを探しているとか、あのお店おいしいよ、なんでも書き込めるノートそれを見た誰かが返事を書いたり交換日記みたいなノートというのはどうでしょう。色々な情報を自分に活かせば町を活かすことになるのではないのでしょうか。 政府が「子どもを飼い馴らす」と言っていました。子どもは犬などではありません。これでは不登校の子が増えると感じました。私も絶対に嫌です。今、教育の在り方、学校の在り方に疑問を持っている人は大勢いらっしゃる。政府が間違っているのではないのでしょうか。人権侵害です。失われた33年、日本は33年間経済成長せず、少子高齢化の対策もせず、出生率も低下のままです。これは完全に政府の失敗で全責任は政府にあり、そして、それに従うだけの自治体の責任でもあります。 明石市は12年前に市民派の市長が当選しました。これは市民が望んで選んだということです。市民派市長推薦の市民派市議5人全員が当選しました。これも市民が望んで選んだということです。明石施策を取り入れる市が増え、市民派市長の当選が増えています。自民王国といわれる埼玉県所沢市でも市民派市長が当選し、同じく自民王国の群馬県では県庁所在地のある前橋市で自公推薦を押さえて市民派市長が当選しました。しかも女性で41歳の方です。 今は与党VS野党(どちらも同じ穴の貉)ではなく、国民に冷たい政治VS国民を救う政治だと思います。狂った世の中に関わる必要は無いのではないのでしょうか。</p>	<p>市民の減少に歯止めをかけるためには、美濃市が「住みたい町」としての魅力を高める必要があります。これには、安全で快適な住環境、充実した教育機会、良好な医療サービス、そして豊かな文化活動が必要です。 市が市民一人ひとりの声に耳を傾け、それぞれのニーズに応じたサポートを提供することで、市民が安心して暮らせる環境を整えることが重要と考えます。いただきましたご意見は関係部署へ共有させていただきます。</p>

14	市民への説明及び意見聴取について	<p>市民の多くは「国・県・市がすることに間違いは無い」と信じている方が非常に多い。市民代表の議員の中にも堂々と公の場で同じ内容の事を発言される方がいて驚きを禁じ得ませんでした。しかしながら、かたや「国・県・市」ほど信用信頼に欠ける組織はないと断言される市民も少なからずいます。</p> <p>市民説明会で市民の意見を聞くとは申せ、アンケート内容に関しても観光客や短期住人意識レベルであり、アンケート以前のレベルと捉えました。</p> <p>素案ですら、説明書の希望者は庁舎へ取りにと、本来ならば参加者全員に配付すべきが市民に対する礼であります。</p> <p>4会場で開催しました市民説明会では、市民の質問に対しての回答は、回答以前の何とも説得力無い不甲斐ない内容であります。</p> <p>担当者が回答に苦慮しているにも関わらず、部長からの助け舟も無く、この組織風土には違和感すら覚えます。</p> <p>参加者の多くは市政に対しての不信感とマスタープランの出来栄えに、信頼を寄せて良いものかと不安を感じたのではないかと思います。</p> <p>本来ならば市長自ら先頭に立ち、熱意を込めて市民に説明すべき案件でもあります。</p>	<p>率直なご意見、ありがとうございます。市民一人ひとりが政策に対して声を上げやすい環境を整えることが、信頼される自治体運営への第一歩ですので引き続き、環境整備に努めてまいります。</p>
15	市民への説明及び意見聴取について	<p>開かれた市政であると自認されるならば、問題・課題が山積みの当市でありながら市民に何故、問題・課題を投げないのでしょうか。自力で解決する力があるとお考えでしょうか。</p> <p>知られては困る、情報開示は最小限に、メディアは操作、少数意見は無視する等では、市民は意見を述べようがありません。</p> <p>市民の意見は不都合であり、阻害要因で少数意見だから無視しているのではないのでしょうか。</p>	<p>この計画は、策定に当たり行いましたアンケートを踏まえ定めております。また、市民団体の代表者を策定委員として委嘱させていただき、市民説明会を開催し広くご意見を伺っております。</p>
16	市政について	<p>庁舎へ訪問しますと「閉塞感、空気の澁み、陰湿性」を直観します。元気、はつらつとした姿が当たり前の若い職員が意気消沈している様子に、美濃市の未来を危惧してしまいます。邪推ながら庁舎内は付度構造が長年にわたり継続されてきたと推定しております。</p> <p>会議に出席したら誰しも発言権が与えられますが、意見を言わぬが上策(萎縮)であるとなっていないでしょうか。</p> <p>これが日常的に蔓延しては出席した役割を果たしたといえるのかと申したいところであります。</p>	<p>率直なご意見、ありがとうございます。公共機関での職場文化や環境が、職員の士気や市民サービスの質に直接的に影響するものと考えております。職員が活気に満ち、市民に対して最高のサービスを提供できるような環境を目指します。</p>
17	市政について	<p>国民・県民・市民は「国・県・市」の為にあるのではなく、本来、国・県・市は「国民・県民・市民」の為にあるべきであります。</p> <p>令和6年度予算も102億円ありますが、その各事業が市民第一主義ではなく、一部の方々の欲得を優先するならば、市政そのものの伸展を阻害するに等しい愚挙であろうと捉えています。</p>	<p>市民が行政の根本的な目的であるという考えは、公共機関が常に念頭に置くべき重要な原則です。市政が市民のためにあるという原則を堅持することで、美濃市の持続可能な発展と市民の幸福を確保することが可能と考えます。</p>
18	委員について	<p>マスタープラン(素案)、庁内ワーキンググループ(関係各課職員)での意見交換で多数の未来を担う素晴らしい意見が出されたと受け止めています。</p> <p>検討委員会の構成メンバーは関係部・課長で素案を作成したとのことですが、職員から出された意見の内容をどれだけ尊重し盛り込んだ素案にしたのか、オープンにする必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>退職間際の部課長では未来都市計画を策定は偏った素案になり易く、リスクを織り込んだ素案とはならないでしょう。</p> <p>これにコンサルタントが介入すれば尚更、県・国に顔を向けた素案と化してしまい、その出来栄えを危惧しております。</p> <p>策定委員会も学識経験者や各種団体の代表者に建設部長で構成されており、一般市民は何故、公募してメンバーに入れないのでしょうか。</p> <p>策定委員会まで傍聴するのは可能でしょうか。またこの委員会の議事録は開示するのでしょうか。</p> <p>策定委員会メンバーに20代・30代・女性等、各層から構成されたメンバーにすべきでありながら、偏ったメンバーで構成されているは、マスタープランの出来栄えにも影響し、国・県からの支援(補助金)にも影を落とします。</p> <p>都市計画審議会メンバーと市長での議論・討論をオープンにする必要があるが、どう対処するのか回答を求めます。</p>	<p>この計画は、職員で構成する庁内ワーキンググループで出された意見を踏まえ、学識経験者や各分野の団体等で構成する策定委員会で素案を作成しており、各分野の団体代表者の意見を市民の意見として取り入れております。また、年齢や性別についても、各層から構成されています。委員の公募については、今後検討させていただきます。</p> <p>なお、議論・討論を経た素案でありますので、議事録の公表などは考えておりません。</p>

19	市民説明会(議員の参加)について	市民説明会で議員の参加者が僅かばかりで、関心が無いことと参加議員からの質問も少ないことに驚いています。 議会で承認権を持つ立場であるが、市民代表で選ばれた議員でもあります。 庁舎側からの参加する旨の啓発は無かったと、判断してよろしいでしょうか。	この計画は、議会の議決事項ではありませんので、議員に対して特別な周知は行っていませんが、説明会を開催するにあたり、市民全体に広く周知をさせていただいております。
20	進捗状況について	都市計画マスタープランの進捗状況報告では「実施中」「未着手」が圧倒的に多く、完了案件はわずかに3件だけでした。本来ならば進捗状況を記載するならば「実施率〇〇%」とすべきで、その進捗状況が把握できていないことと承知しました。 進捗報告は市民に対しての敬意も無く、多くの市民は無視されていると判断します。 20年前の1995年に策定したプランの完了が3件とはいかがなものなのでしょうか。やむを得ない諸事情は理解しますが、美濃市行政の弱さを切実に痛感する次第でもあります。この無為無策から脱皮した市政運営に期待します。 国会議員の武藤氏、県議会議員の佐藤氏の存在感は観えてきません。 10年にわたる都市計画は平穩無事ではなく、激甚災害・超高齢者の独居世帯・貧困世帯・異国者との共存コミュニティ・人口減少・歳入現象・山間部の一軒家・ライフラインの老朽化・森林火災・原発避難者の受け入れ・避難所と避難場所の整備と収容可能人員数に備蓄品と滞留可能日数の開示・子育て支援・人口増加対策・教育支援・高校無償化・病院介護施設の充実・交通アクセスの不備等々これでもかと言わんばかりの難問が美濃市を覆っています。 よほど本腰を入れて国・県に働きかけないと無視もされ、周回遅れの事業になります。 美濃市の予算が豊かであれば計画的に遂行しますが、多額の予算を投じて箱物政策を邁進してきた結果、維持管理費用にも多くの出費が嵩んでいる現状では、痒いところまで行き届かない市政、その結果「市民満足度」は激減し更なる負担を弱者に強いることでもあります。	都市計画マスタープランの進捗状況に関するご懸念は非常に重要であり、市政として市民の皆様にも明確かつ詳細な情報を提供する責任があります。いただいたご意見は市政に対する改善と透明性を求める重要な声と考えております。具体的な実施、進捗状況は、担当部署で確認していくこととなります。
21	企業誘致に関して	企業誘致についても、数社の候補がある発表がありました。既に決定しているのではないのでしょうか。インサイダーらしきとささやく市民もいます。 企業誘致の目的すら曖昧で、近隣の工場移転程度では美濃市への貢献度は期待できそうにありません。 市長のトップセールスでは本来は県外の大手企業を誘致してこそ、雇用確保問題・人口減少・交通アクセス改善・商店街活性化・小中高校生学校閉鎖問題等々の改善にもなります。	この計画は、美濃テクノパークの南側一帯について、企業誘致推進区域とし美濃市の工業振興を支える工業地区として土地利用を図ることとしております。具体的な計画、施策は、この計画を基に、担当部署で決めていくこととなります。
22	市政について	歳入の増加は市政が抱えている問題を解決する鍵であることは、庁舎内全員が承知しているはずではありますが、歳出はこれまでにスクラップが出来ていない実態をどのように受け止めているのでしょうか。 政策マン不在なのか、執行部が機能していないのかと評価されても弁明の余地はありません。しかも、委託会社・出入業者に主導権を牛耳られては、計画遂行は夢の話であります。	歳入の増加と歳出の効率的な管理は、市政運営において重要な課題であり、市の財政状況を改善し、市民サービスの質を向上させるためには、両方のバランスが重要です。いただきましたご意見は関係部署へ共有させていただきます。
23	事業計画について	事業計画もスポット事業では点でしか捉えられない、これでは不都合が必ず生じます。箱物事業こそ億単位の投資であるならば、相応の相乗効果を期待するのは当然であります。如何ほど検証してきたのでしょうか。 しかも、箱物事業はこれまでに補正予算を必ず組んできました。これも、見積の甘さであり、業者間との関係に疑問すら生じます。 民間では特別なことが無い限りあり得ない不思議な世界で、事前調査不足は業者責任と判断されております。	この計画は、まちづくりの総合的な方針を定めるものであります。具体的な事業は、この計画を基に、担当部署で決めていくこととなります。ご意見は担当部署へ共有させていただきます。
24	市民意識調査について	市民意識調査での満足度は75点以上が3項目であり、不満度の項目では50点以下は1項目であります。重要度の項目では重要ではない項目は0項目であります。 交通環境での評価が低いように思われます。これは市民生活の行動を著しく阻害している根拠であり、これは市外からの訪問数も低下しているのでもあります。 要因としては、他市が創意工夫で面白いアイデアで取り組んでいます。しかるに美濃市は傍観的な目線で無策であると言えます。 乗り合わせタクシーも、利用者目線で利便性を主に改善すれば高齢者も安心して利用できるのではないのでしょうか。 市民が主なのか、業者が主なのか、市政の在り方が問われているのです。	この計画は、公共交通について、一般路線バス、自主運行バスなどの維持・充実を図るほか、乗り合わせタクシーの利用方法の周知や利便性の向上に努めることとしております。具体的な計画、施策は、この計画を基に、担当部署で決めていくこととなります。
25	地域別構想について	3ブロックの整備方針についても、市民の声を改めて集約する必要があります。それを踏まえて、現地・現場を把握した後に素案作成から仕切り直しするべきと進言いたします。	具体的な計画、施策はこの計画を基に担当部署で決めていくこととなりますが、その際には、市民から意見を伺いながら進めていくこととなります。

26	防災について	<p>ホームページも閲覧すれば削除されている項目もあります。何故でしょうか。市民の多くは開かれた市政と信じていますし、信頼と期待も寄せています。</p> <p>東北・能登半島の激甚災害は「対岸の火事」ではなく「他山の石」とすべきことでもあります。美濃市において激甚災害は、明日起きるかもしれない可能性は否定できません。美濃市からも救援隊として派遣されている職員もいます。その報告は庁舎内でも共有されているはずで、そして今、出来ることを着実に前に進めることが被害を最小限にする重要性を理解してほしいものです。私は東北の震災から3年経過した時点で現地(宮城県・岩手県・福島県)を視察してまいりました。その無残な姿に言葉を無くしました。地域の方々のお話も、自然と涙が出てくるのが抑えられませんでした。それから2年後に再度同じ居場所を訪問しましたが、僅かではあります。復旧の兆しがありました。しかし、5年経過してもこの程度かとうつむくしかありません。復興支援で復興税が徴収されていますが、その使い道は遠く離れた場所で使われています。これが現実なんです。復旧はするが復興はしないのが日本の政治でもあります。義援金ですら、その使い道は歪められて支出されています。</p> <p>これから発生する災害に備えて、何を成してきたか。市政と市民が問われその責任は後々まで追求されます。当然、訴訟問題にも発展する可能性もあります。市民を十分に巻き込み、各世代からの意見も配慮されている都市計画マスターが出来上がることに期待しております。</p>	<p>防災につきましては、地域防災計画を定めており、その計画を基に進めていくこととなりますので、いただきましたご意見は担当部署へ共有させていただきます。</p>
27	都市の現状と課題について	<p>旧計画の進捗状況を示され、現況と課題が整えられており、分かりやすく現況を理解することができました。</p>	<p>ご理解ありがとうございます。</p>
28	下水道の現状と課題について	<p>P21-22 下水道・河川の現況と課題整理について、「下水道」の課題を記述していただきたいです。下水道については、住宅敷地の際まで整備されているにもかかわらず、敷地内への引き込みが行われておらず、排水が垂れ流しになっているケースがまだまだ多く、余取川等の水質汚染が深刻な状況にあります。</p> <p>また、可能なら、P29の整理でも、未利用の下水道の利用を促す点を記述いただきたいです。長良川だけでなく、身近な河川で子ども達が水遊びできるような親水性の高い河川を整備し、美濃の美しい自然環境を保全していく必要があると考えております。</p>	<p>P23に、現状を「住居が点在していることなどから、道路や下水道などの安心・快適な生活に向けた都市基盤の整備が十分ではありません。」と踏まえ、課題を「道路や公園、下水道などの都市施設をはじめ、住居、商業、工業、医療、教育など生活に必要な様々な機能が近接した都市の実現を図る都市基盤の整備が必要です。」と挙げており、道路、公園、下水道など様々な施設の機能が十分に発揮されるよう、引き続き整備を図ることとしております。</p>
29	市民意識の現状と課題の整理について	<p>P29の現状と課題の整理について、一覧になっていて大変わかりやすいです。</p> <p>一方で、市民意識の整理が抜けており、最も関心が高い「空き家・景観の悪化」が課題として整理されていません。他の項目と種類が違い整理が難しい面もありますが、大切な部分なので位置付けていただきたいです。</p> <p>市民参加を促すためにも、大切な部分は記述いただきたいと思っております。</p>	<p>P33に、市民意識として「管理されていない空き家や空き地が増え治安・景観等が悪化する」とし、都市づくりの課題として「中心市街地での賑わいを取り戻す居住環境の整備やDXなどを活用した滞在型観光の推進が必要」と整理しております。</p>
30	基本方針について	<p>P31の3)基本方針の導入の部分に「人にやさしい、市民が主役の持続可能な都市を目指して」とありますが、大変重要な部分だと感じましたので、基本方針1,2,3のような項目の中に位置づけていただきたいです。</p> <p>人口減少が深刻な将来に向けて、市民が主役の持続可能なまちづくりが不可欠であると考えております。</p>	<p>「人にやさしい、市民が主役の持続可能な都市」を目指すうえで3つの基本方針を定めております。そのことが不明瞭であったため、P33「現状と課題から都市づくりの基本理念・方針への展開」にも追記いたします。</p>
31	土地利用における防火地域等の記述について	<p>P39の4項目に、うだつの上がる町並み周辺の市街地で「防火地域等」の指定を検討すると記述がありますが、これを行うと木造建築物の建築は実質不可能になってしまいます。</p> <p>美濃市においては、うだつの上がる町並み以外にも木造の低層建築物が多いと思います。現在立地している建物や景観の連続性なども踏まえて、総合的に防災性・耐震性の向上を図る必要があると思うので、柔軟な記述にしていきたいです。</p> <p>現況の建物の立地状況に応じて、土地利用だけでなく総合的に防災性・耐震性の向上を図る必要があると考えております。</p>	<p>ご指摘の通り、うだつの上がる町並み周辺は伝統的建造物群保存地区のバッファゾーンとして街並み景観に配慮することは必要と考えます。一方で、木造建築が密集する地域での防災も重要な課題と考えます。防火地域の指定も検討手法の一つですが、この計画を基に、具体的な防災性の向上の誘導の際には、景観保全との調整を図るよう努めます。</p>
32	南部地域の土地利用別の整備方針について	<p>P52<商業地区>に「うだつの上がる町並み周辺」についても、バッファゾーンとして歴史的なまちなみの雰囲気と調和する整備を図っていくことを記述いただきたいです。</p> <p>連続性が感じられる景観を形成するために、うだつの上がる町並みだけでなく、隣接する地域も一体的に整備していくことが必要だと考えております。</p>	<p>P39に、うだつの上がる町並み周辺を一体的に整備し、と記載しておりますが、ご指摘の通りP52については記載が無いため、P39に記載しているものを校正し記載いたします。</p>
33	南部地域の土地利用別の整備方針について	<p>P52<新都市核地区>について、美濃IC付近は、複合的に機能が集積していくと、景観が荒れてくることも想定されるので、良好な景観形成の視点を加えていただきたいです。</p> <p>美濃市をブランディングしていくために、玄関口として、他都市とは一線を画した品格のある整備を行う必要があると考えています。</p>	<p>美濃インター地区は、景観計画誘導区域に指定しておりますので、今後景観計画重点区域の指定を目指した取り組みを進めることとしております。</p>

34	実現のための 方策の追記に ついて	他都市の都市計画マスタープランの事例を見ると(例えば茨城県の牛久市や銚田市など)、方針の後に別の章立てを行い、「実現のための方策」を示しているものがあります。市民協働や人材育成について記述していたり、「市民・企業・行政」の役割を記述するなど、未来に向けた実現可能性を感じさせる内容になっています。美濃市においても、1 ページでも2 ページでも良いので「実現のための方策」として考え方を示していただきたいです。人口減少、高齢化、空き家問題など、様々な社会問題がある中で、持続可能な着地点を探り、他都市に負けない未来を描いていく必要があると考えています。	「計画の実現方策」として掲載いたします。
35	基本方針につ いて	基本方針の中に「学び合いが生まれる」「共育・共創」のキーワードを入れませんか。(31 ページ 3)基本方針) 基本方針内に学習・学びと言ったキーワードが無かったと存じます。まちづくりと市民の学びは分けられないのではないのでしょうか。「子育て環境」の記載はありますが、学び手は子どもだけではありません。先行きが見通せない予測困難な時代だからこそ、大人も含めて、すべての世代がより良い地域社会の実現に向けて良質の学び合いが生まれるようなまちづくりであってほしいと願います。	この計画はp30に記載の通り、「市民と共に創るまち」と基本理念とする美濃市第6次総合計画を上位計画として、まちづくりの総合的な方針を定めるものであり、主にハード事業について記載をしております。ただし、P30の記載が「市民とともに創るまち」となっておりましたので、美濃市第6次総合計画の記載の通り「市民と共に創るまち」に修正いたします。
36	南部の整備方 針図について	地図上に武義高校・森林文化アカデミーをプロットしませんでしょうか。(P57【南部地域の整備方針図】) 美濃市のまちづくりに関するポテンシャルとして、高等学校や専修学校も含まれると考えています。また、森林文化アカデミーは、森と共生する持続可能な社会の実現を目指して全国各地から学び手が集まる場であり、まちづくりにもある程度の影響を与えていると思われるためです。	地図上のランドマークは、主に市関連施設などをプロットしております。
37	地域の整備方 針について	グリーンツーリズムではなく、エコツーリズムとしませんでしょうか。(P71 (4) 地域の整備方針 ■その他 <観光>) エコツーリズムの方が、地域の自然や歴史、文化、人などが保全されることをより重要視した考え方と感じています。美濃市の滞在型観光は、地域循環型社会の良質な事例として、地域の大切な資源を守りながら、観光客と受け入れ側、双方のニーズを満たす方法で、数十年先もその地域が持続できることを目指してほしいと考えます。そうした質の高いエコツーリズムが、市内外に良質な感度のファンを増やし、シビックプライドとなり人口流出対策や、移住者増加や関係人口増加につながると考えます。	エコツーリズムは「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた」と定義されています。(環境省)、グリーンツーリズムは「農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」と定義されています。(農水省) 自然や文化だけでなく、地元の人々との交流を楽しむ滞在型観光への転換を図るため、グリーンツーリズムとしております。